

沢山喜び、驚き、学んだ！こんな感動初めて！

M・S

私は、9月3日、4日、5日と、林間学校で福島に行ってきました。

そこでは、自然体験学習で、福島の自然から、たくさんのことを学んできました。

凸凹コースで、五色沼火口探検 「五色沼」は今沢山の人に感動を

私は、自然体験学習の1日目では「五色沼火口探検」をしました。大きな岩など沢山あって、すごく歩きにくい、大変なコースでした。ペースもやや速くて少しみんなより遅れ気味でした。

最初に見たものは、ブナでした。とてもたくさんのブナがありました。このブナは、100年100年前の木なので結構大きかったです。



↑ (昔温泉だったところの写真)

次に、温泉だったというところに行きました。その場所に近づくにつれて、温泉のにおいがしていました。そこで温泉の水をさわりました。少し暖かく、温泉だったなごりが残っているのだなと思いました。その水は、ぶくぶくして面白かったです。なぜそこは

今温泉ではないというと、おそらく、「噴火」のこともありますが、そこは山なので、温泉を運営していた人も、年をとってしまって、山に登れなくなったということも考えられます。



↑ (裏磐梯の写真)

その後、ネイチャーガイドの佐藤先生から、昔あった大噴火のことについて、話がありました。資料も渡されました。その資料には、噴火のことを記録したのも書いてありました。昔、磐梯山のほうでは、噴火がよくありました。100年くらい前に大噴火したとき、その前もたびたび小さい噴火があったそうです。磐梯山は噴火前に音がするので、この大噴火が起こる前にも音がしたので、その近くに住んでいた人は、大噴火がおこると、わかっていました。しかし「いつもの噴火だろう」と思い、人々は避難しようとしませんでした。すると、今までにないすごく大きい音がしたので、さすがに人々も、「これは大変だと思い」逃げましたが、そう思った時にはもう遅かったので、たくさんの人々が逃げ遅れ、この大噴火で、たくさんの人々が亡くなってしまいました。私は、やっぱり油断してはいけないな、と感じました。

初 め て の 「 赤 沼 」 ！



↑（赤沼の写真）

このコースでは、「赤沼」も見ることができました。きれいな赤茶色い色をしていました。アロフェンの関係などで、この色をしています

磐梯山の大噴火では、なくなってしまった人々はたくさんいます。しかし、この大噴火によって、「五色沼」はできたのです。そして、この沼は今、たくさんの人々に、喜びや感動を与えているのです。

私もとてもきれいな、五色沼を自分の目で見ることができ、感動しました。私は、自然体験学習に来る前から、五色沼のことを調べて、すごく興味を持ちました。なぜあんなきれいな色をしているのかなど、疑問に思い、たくさん調べました。調べれば調べるほど、疑問に思うことが増えて、すごくたくさん調べましたが、五色沼について知っていくことが増えるにつれて、「五色沼を早く見たい！！」という気持ちになりました。

磐梯山朝日国立公園で沢山発見

2日目のコースは、五色沼周辺を歩きました。

最初、何歩か歩いたところで、早速説明がありました。最初に見た植物は、「のりうつぎ」でした。この、のりうつぎという植物の葉をゆっくりとちぎってみると、葉の間から白いネバネバした物が出てきました。私も許可をもらってから、のりうつぎの葉をとって、実際にちぎってみました。このネバネバを利用して、昔の人は、「のり」として使っていました。



↑ (キツツキによって、穴をあけられた、しろやなぎの木)

続いて、「しろやなぎ」という木をみました。この木は枯れていました。しかし何故か所々に丸い穴があいていました。この穴は、「キツツキ」が巣としてあけた穴です。私たちの見た、しろやなぎは、残念ながら、キツツキはいませんでした。



↑ (池の、水が動いてないところにあった、ガマの写真)

「ガマ」という茶色い植物もみました。この植物は、池や沼にあります。私たちが見たのは、池でした。このガマは、風を頼りにして自分の仲間を増やしていく、「風媒花」です。ガマは水が流れているところにはありません。水が止まっているところにあります。

「モリアオガエル」をみました。このモリアオガエルの目は、赤色でした。そして、オスのモリアオガエルよりも、メスのモリアオガエルの方が、体が大きいそうです。

この、磐梯朝日国立公園では、日本の植物ではない、「外来植物」も沢山あります。「ミント」もその外来植物の一つです。

「バイオリンバッタ」というバッタの一種を見つけました。このバイオリンバッタは足にギザギザがあります。このギザギザと羽を、弦と弓のようにこすると、音がしました。ネイチャーガイドの五十嵐先生は、バイオリンバッタを捕まえて、実際にその音を聞かせてくれました。バイオリンバッタは、この音で、オスがメスに自分をアピールするそうです。

「漆」という木を見ました。漆は、触ってしまうと、かぶれてしまいます。

「つた漆」は木に沿って縦に伸びていきます。このつた漆も、毒を持っています。漆よりも強い毒です。

やっと見た「毘沙門沼」 鮮やかなエメラルドグリーンは美しい！



↑（毘沙門沼を、水面と同じくらいの高さで見たときの写真）



↑（毘沙門沼を角度を変えて、高い位置で見たときの写真）

私が五色沼で、一番好きな沼。それは「毘沙門沼」です。まずは、水面と同じくらいの高

さで見ました。そして次に、少し山を登りをして、高い位置で、毘沙門沼を見たとき、驚きました。水面と同じくらいの位置で見たときとでは、大分色も変わっていました。すごく感動しました。ひとつの色だけでなく、角度しだいで、何色も美しい色を味わえます。自然って凄いなと改めて感じました。

100年くらい前の「マツ」の木を見ました。凄く大きい木でした。マツは日本では、長寿を表す縁起の良い木です。

「ミズキ」という、熊の大好物がありました。小さな丸い実が付いている木です。熊はこれを、爪でとって食べます。

池の近くで、「ヒキガエル」を見ました。ヒキガエルは、目の裏から毒を出します。ヒキガエルの毒は、蛙の中でもかなり強い、毒を持っています。白い毒を出します。人間が手で触ったり持ったりすると、毒を出します。ヒキガエルが、ブフォトキシンという毒を持っています。

こんなところに「きなこ」が！？

途中で、「ヨコバイ」という植物を見つけました。ネイチャーガイドの五十嵐先生に「葉を手にくすってニオイをかいてみて」と言われたので、どんなニオイがするのかを考えながら、やってみました。すると、それは本物のキナコのニオイがしました。とてもいいキナコの香りでビックリしました。

植物が虫を嫌がって、とじこめちゃった！でも虫は有難い！



↑（虫こぶの写真。丸い緑の中に、生まれたばかりの虫が入っています。）

面白い植物を見つけました。それは「虫こぶ」という植物です。この植物は、自分の花の上ののっかった赤ちゃんの虫を嫌がって、自分の中に閉じ込めてしまいます。赤ちゃん虫

は、出られなくなるから、可哀そうだと思うかもしれません。しかし、これは、赤ちゃん虫にとって、とてもラッキーなことなのです。赤ちゃん虫は、とじこめられると、その中で、安全に成長することができます。そして、十分に成長した、虫は、その中から出ることができるのです。虫こぶの花は虫を嫌がってとじこめるのに、虫は逆にそれを利用して、自分の身を守るので、凄いと思いました。

「アオダモ」という木をみました。木で作られている野球のバッドは、このアオダモから作られています。アオダモの材質は、硬くて強いけど、粘りがあります。そのために、曲がることも可能なので、さまざまな事に使うことができます。アオダモは春になると花が咲きます。

※（写真はすべて、自分が撮ったものです）

感想

今回の、自然体験学習では、普通では見ることのない自然を自分の目で、見て学習することができました。これは、とても良い経験になりました。

この林間学校で、沢山のことを教えてくれた、福島の自然、そしてネイチャーガイドの先生方のとても感謝しています。